基礎から学ぶ

生きた所見の書き方

参加費
4000円
臨床心理士ポイント
申請予定

心理検査の所見を作成するということは、形式的にどのように整った文章を構成するということではありません。検査にまつわる専門的な知識や技術を備えていることもさることながら、心理検査という一連のコミュニケーションを丁寧に紐解いていくという視点が必要です。心理検査のオーダーが入り、クライエントの情報を耳にすることに始まります。事前情報からの見立て、そして、クライエントとの初めての出会いの中で得られる情報、検査中に注目されるべき言動。ようやく取り終えた検査データの情報に、それまでの理解をどのように織り込んでいくのか。講義とグループワークを通して、一緒に学んでいきましょう。

日時 2019年6月16日（日）10:00 – 16:00 （受付9:45～）

会場 大阪市総合生涯学習センター　第5研修室
〒530-0001　大阪市北区梅田1-2-2-500　大阪駅前第2ビル5F

定員 先着 35 名様　臨床心理士（受験資格者含）、大学院生

講師 臨床心理士　岸本　和子先生　（医療法人西浦会　京阪病院）

WAISと,バウムなどのテストバッテリー事例を元に講義とグループワークを行います。

午前	10:00 – 12:30	検査をとるまでや検査中に得られる情報からどのような見立てができるのかを学びます。
昼休憩	12:30 – 13:30	会場内でのお食事は禁止されています。会場付近の飲食店などをご利用下さい。
午後	13:30 – 16:00	検査データの結果が出そろった後、実際に検査所見をどのように書くのかを学びます。

お問い合わせ・お申込み

大阪・京都こころの発達研究所　葉

HPの専用ページからお申込みいただくか、メールの件名を「生きた所見の書き方」とし①お名前、②ご所属、③メールアドレス、④お電話番号、⑤臨床心理士番号（有資格者）をご記入いただき送って下さい。

✉ info@kokoro-you.com
https://kokoro-you.com/